



経営と現場をつなぐ橋渡し（ブリッジ）人材を育てる

ものづくり ITブリッジ 人材育成プログラム[第7期]

2026年10月19日(月) 開講 2027年2月まで

全7回

定員:12名

製造現場を熟知した中産連コンサルタント陣が、貴社のデジタル変革をご支援します

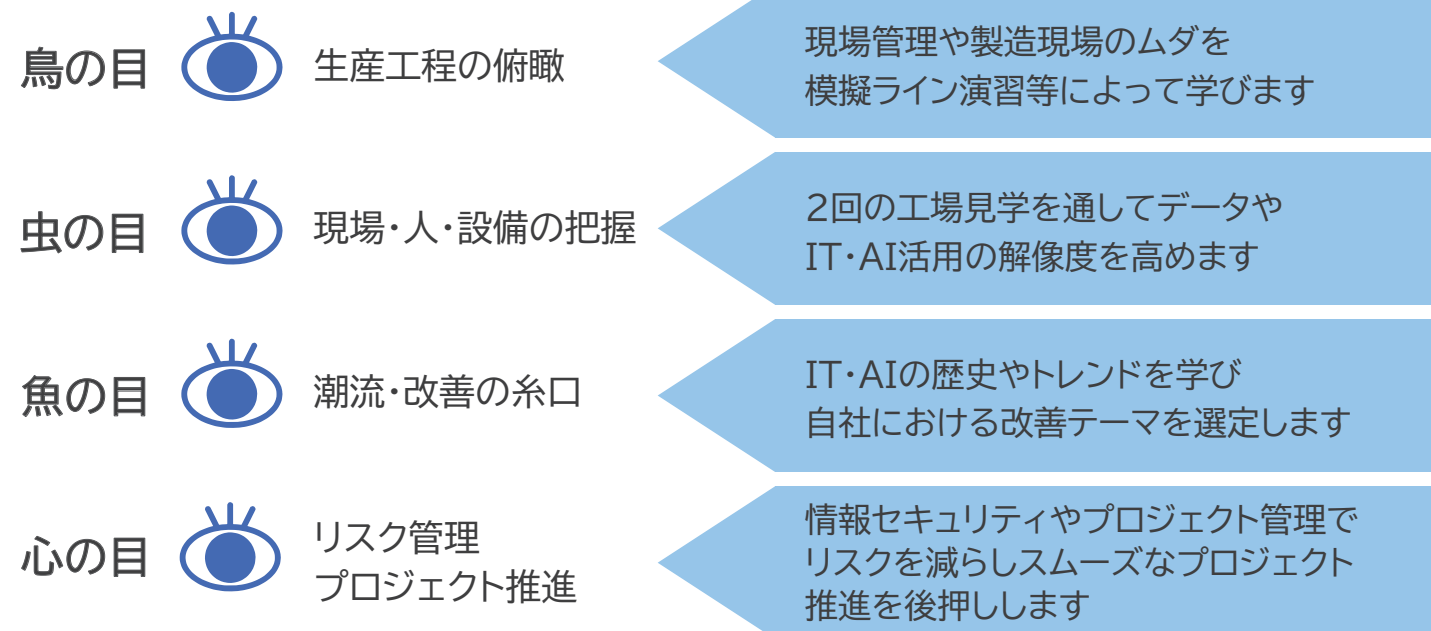


 Reスキル講座

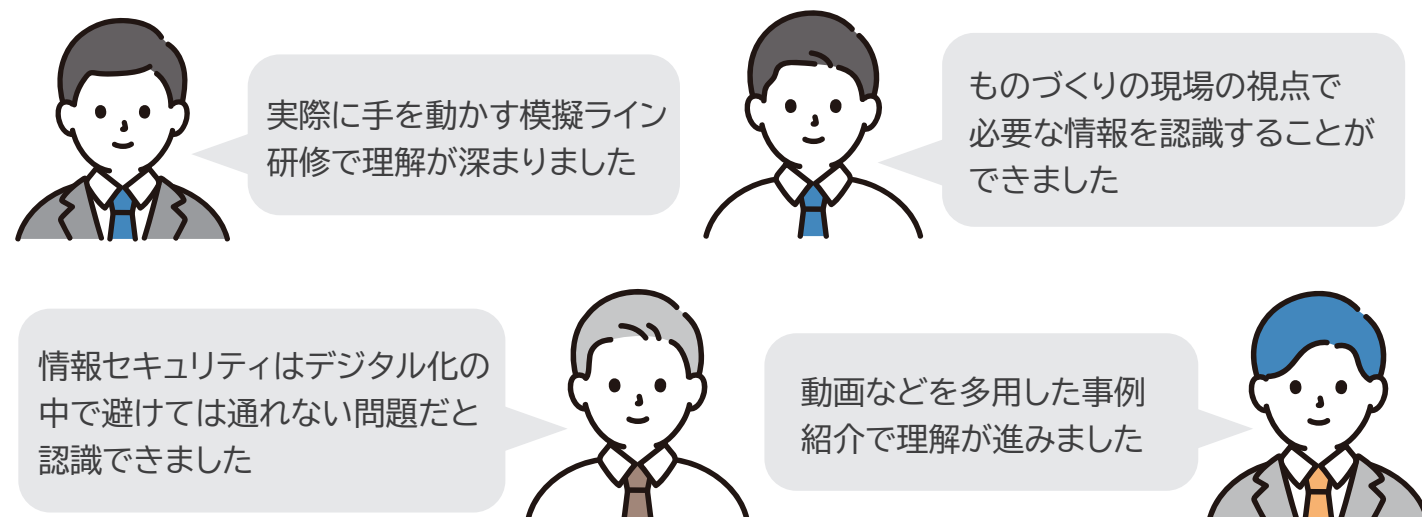
ITブリッジ人材とは？



ITブリッジ人材の4つの視点



過去の受講生の声



実践ロードマップ（カリキュラム）

各回 9:30～16:30
会場 第1. 2. 5. 6. 7: 中産連ビル研修室
第3. 4: 訪問先企業様

STEP 1 視点の獲得	第1回 10/19 (Mon.)	1. オリエンテーション 2. 生産工程の把握 3. 改善の着眼点 4. 模擬ラインの改善【演習】
	第2回 11/2 (Mon.)	1. IT技術の歴史と技術革新 2. データの活用 3. 人の生産性 4. 設備の自動化・保全 5. 品質の管理・保証
STEP 2 現場に学ぶ	第3回 11/16 (Mon.)	【工場見学】 1. デジタル活用現場見学 @ものづくり先進企業 2. ワークショップ ▶ 第1・2回の講義内容を踏まえて明確化した自社の 課題・テーマの共有 ▶ 運用面での課題検討 ▶ 現場の最前線の視点に触れる事で新たな気づきを 得られます
	第4回 11/30 (Mon.)	【工場見学】 1. デジタル活用現場見学 @物流先進企業 2. ワークショップ 3. ここまでの振り返り
STEP 3 技術の活用	第5回 12/14 (Mon.)	1. RPA概要と活用事例 2. RPAを使い業務改善を体験【演習】 3. AIの業務改善活用技術・方法の紹介
STEP 4 計画と実践	第6回 1/18 (Mon.)	1. IoT導入にかかる情報セキュリティ 2. 費用対効果の検証 3. リスクを回避するプロジェクト管理 4. 事前課題発表とアドバイス
	第7回 2/22 (Mon.)	実践報告会 ／2か月間の実践成果報告

ものづくり ITブリッジ人材育成プログラム

対象となる方	解決したい悩み	本プログラムで得られる視点・スキル
製造部・製造現場	デジタル化の号令はかかるが、現場の泥臭い実態に合うツールがなく、日々の生産に追われている	最新ITデータの基礎を知り、現場視点で「使えるデジタル改善」を企画する力
生産技術部	古い設備や手作業の工程に、AIやIoTをどう組み込み、投資対効果を出すべきか悩んでいる	「鳥の目・虫の目」で工程を俯瞰し、デジタルを活用したスマート工場化への道筋を描く力
DX推進室	経営のDX戦略を現場に展開しようとしても、現場の反発や理解不足でプロジェクトが前に進まない	現場管理の基本(ムダやロス)を理解し、現場を巻き込んで成果を出すマネジメント力
ITソリューション部	システムは導入できるが、それが現場の「真の課題解決」に直結しているか見えにくい	現場の泥臭い課題を「現地現物」で体感し、リスク対応を含めた現実的なプロジェクト実行計画を立てる力

研修会場

第1. 2. 5. 6. 7回…中産連ビル研修室(名古屋市東区白壁3-12-13)
 第3回…先進ものづくり企業様(現場訪問) 第4回…先進物流企業様(現場訪問)

受講料

中産連会員:250,000円(税込275,000円) 中産連会員外:270,000円(税込297,000円)

申し込み方法

中部産業連盟HPまたは右記QRコードよりホームページ申込フォームにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申し込みください。



助成金活用のご案内



人材開発支援助成金の支給

Re スキル講座を従業員に受講させた場合、令和4年度から5年間は、人への投資促進コースにおいて訓練経費や訓練期間中の賃金の一部について、通常よりも高い助成率・助成額で助成金が受けられます。

助成率 / 助成額

	経費助成率	賃金助成
中小企業 :	75%	1,000円
大企業 :	60%	500円 ※1人1時間あたり

お問合せ先

〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13
 一般社団法人 中部産業連盟 マネジメント開発事業部 生産・業務革新推進部 新井
 TEL:052-931-9825 Email:develop@chusanren.or.jp